

# 富山県における中学生の衣生活とライフスタイル

孫 珠熙 (孫 珠熙)・村田 奈緒子\*

## Clothing and Lifestyle of Junior High School Students in Toyama Prefecture

Ju-hee SOHN, \*Naoko MURATA

### Abstract

In this study, we conducted a questionnaire survey on clothing and lifestyle to 192 junior high school students in Toyama prefecture. The results are as follows.

About the clothing life of independence, while male students valued ease of movement, female students valued going well with clothes they already had and trend when they bought clothes. Females also got a lot of information from the fashion magazines when they bought the clothes.

About T.P.O. (Time, Place, Occasion) and the coordinate, while males liked the dark colors like black, blue and green, females liked the warm colors like white and pink.

Males were particular about ease of movement and females were particular about covering their figures and accessories when they wore clothes.

About life style, almost all of the both genders spent the holiday in studying and sleeping. The difference between males and females was playing games (males) and watching TV and shopping (females).

キーワード：衣生活，自立，中学生，ライフスタイル，富山県

keywords：clothing, independence, junior high school students, lifestyle, Toyama prefecture

## I 緒言

近年，多くの若者がそれぞれのファッションを装うようになったように感じる。テレビやファッション雑誌，SNS等のさまざまなメディアにより，多方面からファッションが発信されている。

中学生の衣生活に関するこれまでの先行研究では，衣生活システム概念を導入した中学生の衣生活の実態分析<sup>1)</sup>(東京都，新潟県，佐賀県の中学生を対象)，家庭科着学習における自己表出の在り方の検討<sup>2)</sup>(広島県の中学生及び高校生を対象)などがある。これらの研究より，女子は被服装飾や自己の個性表現への意識傾向が見られ，着学習への関心は高校生より中学生のほうが高いということがわかった。また，男子は被服関心において他者や社会への意識傾向がみられた。高校生の体型意識が制服着行動に与える影響<sup>3)</sup>より，富山県の高校生は，自分

の着る制服にあまり満足していなかったり，東京都よりは制服を着崩したりしないこと，個性を表現したいと思っていることがわかった。一方で，富山県の中学生の被服行動に関する実態調査はあまりされていない。

そこで本研究では，衣生活について学んでおり，かつ多感な時期である中学生に焦点を当て，現代の中学生の衣生活を探る。家庭科の教科書<sup>4)</sup>の被服分野の内容に沿った質問項目を設け，富山県に住む中学生の自立した衣生活やT.P.O.とコーディネート，ライフスタイル<sup>5)</sup>について明らかにする。

## II 方法

### 2-1 調査時期と対象者

調査時期は2016年12月，T中学校の192名(1年生：男子25名，女子15名 2年生：男子83名，女子69名)を対象に調査を行った。

\*富山大学人間発達科学部人間環境システム学科  
環境社会デザインコース 2018年3月卒業

## 2-2 質問紙調査の測定項目の概要

質問紙の測定項目は「基本属性」「自立した衣生活」「T.P.O. (時間, 場所, 場面) とコーディネート」「ライフスタイル」の3つに大別し, 回答は無記名とした。

### 2-2-1 基本属性に関する測定項目

基本属性を探るために, 5つの質問項目を設けた。具体的な項目内容は, 「性別」「学年」「身長」「家族構成」「部活動」について尋ねた。

### 2-2-2 自立した衣生活に関する測定項目

中学生がどのように衣生活を過ごしているかを探るために, 家庭科の教科書<sup>4)</sup>の被服分野を参考に質問項目を作成し, 回答してもらった。

まず, 衣服の入手について4つ質問項目を設けた。具体的な項目内容は, 「衣服の購入時, どのようなところを重要視しますか」(14項目, 複数回答), 「どのようにして衣服を手に入れますか」(9項目, 複数回答), 「誰が自分の着る衣服を選びますか」(6項目, 複数回答), 「衣服を購入するとき, 何を参考にしますか」(11項目, 複数回答)である。

次に, 衣服の手入れについて「どのような衣服の手入れをしますか」(11項目, 複数回答)。

さらに, 衣服の処分について「いらなくなった衣服はどうしていますか」(5項目, 複数回答), 「今後, いらなくなった衣服はどうしたいですか」(5項目, 複数回答)である。

### 2-2-3 T.P.O. (時間, 場所, 場面) とコーディネートに関する測定項目

中学生の衣服の着用に関して探るために, 家庭科の教科書(自立した衣生活に関する測定項目と同様)を参考に質問項目を作成し, 回答してもらった。

まず, 衣服の好みについて4つの質問項目を設けた。具体的な内容は, 「次の柄の種類や大小の中でどれが一番好みですか」(10項目, 択一回答), 「何色の私服を好みますか」(自由記述), 「私服を着るときのこだわりは何ですか」(自由記述), 「春・夏の時期に, 私服では, スカートとズボンではどちらをはくことが多いですか(女子のみ)」(4項目, 択一回答)である。

次に, 冬の時期の防寒具について1つ質問項目を

設けた。具体的な内容は, 「冬の時期, 外に出るとき防寒対策として何を身に着けますか」(11項目, 複数回答)である。

### 2-2-4 ライフスタイルに関する測定項目

余暇時間に何をしているか探るため, 3つの質問項目を設け, 自由記述で回答してもらった。具体的な内容は, 「休みの日は何をして過ごしていますか」(自由記述), 「興味のあること・熱中していることは何ですか」(自由記述), 「普段読んでいる雑誌があれば記入してください」(自由記述)である。

## 2-3 分析方法

1) アンケートの自由記述の分析は, テキストをExcelに入力し, そのデータをIBM SPSS Text Analytics for Surveys 4にインポートし, カテゴリ間の関係性を視覚化パネルカテゴリ Webにより探った<sup>6)</sup>。

2) アンケートの複数選択による回答は, 回答をExcelに0・1データ(ゼロイチ:なし・あり)で入力し, そのデータをIBM SPSS Statistics 23.0Jにインポートし分析を行った<sup>6)</sup>。

## Ⅲ 結果及び考察

### 3-1 自立した衣生活

#### 3-1-1 衣服の購入時, 重要視するところ

「衣服の購入時, 重要視するところ」(図1)について, 平均値の差の検定(t検定)を行ったところ, 14項目中3項目は0.1%水準, 2項目は1%水準, 1項目は5%水準で有意差が見られた。男女で比較すると, 男子は動きやすさ(男子:56.5%, 女子:33.3%)を重要視しており, 女子は似合うか(男子:56.5%, 女子:77.4%), 手持ちの衣服と合うか(男子:28.0%, 女子:56.0%), 流行(男子:7.4%, 女子:37.0%)を重要視していることがわかった。このことより, 男子は衣服に機能性を求め, 女子は衣服にファッション性を求めると考えられる。

#### 3-1-2 衣服の入手の方法

「衣服の入手の方法」(図2)について, t検定を行ったところ, 9項目中2項目は0.1%水準, 1項

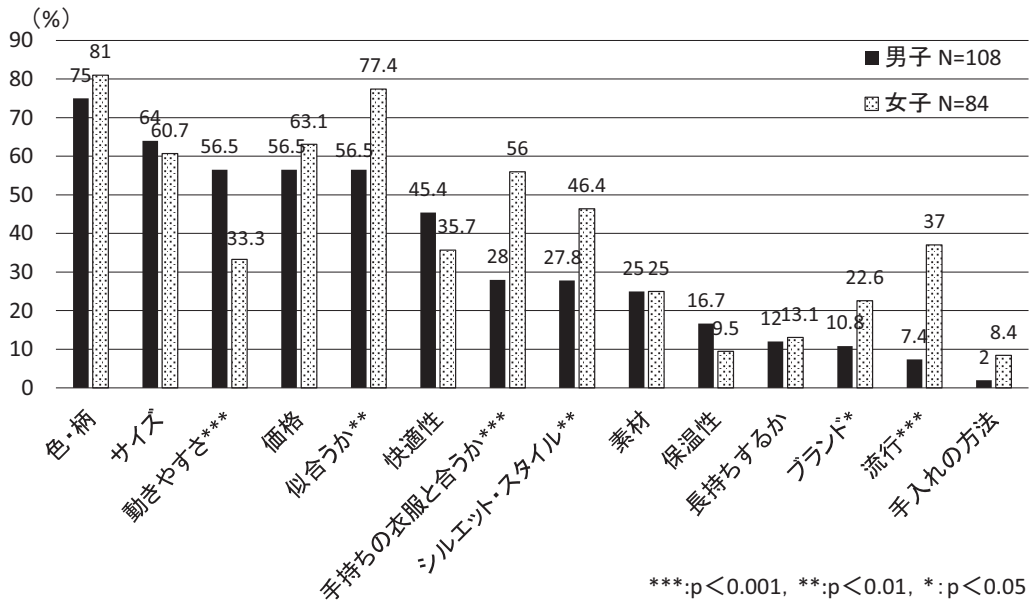


図1 衣服の購入時、重要視するところ

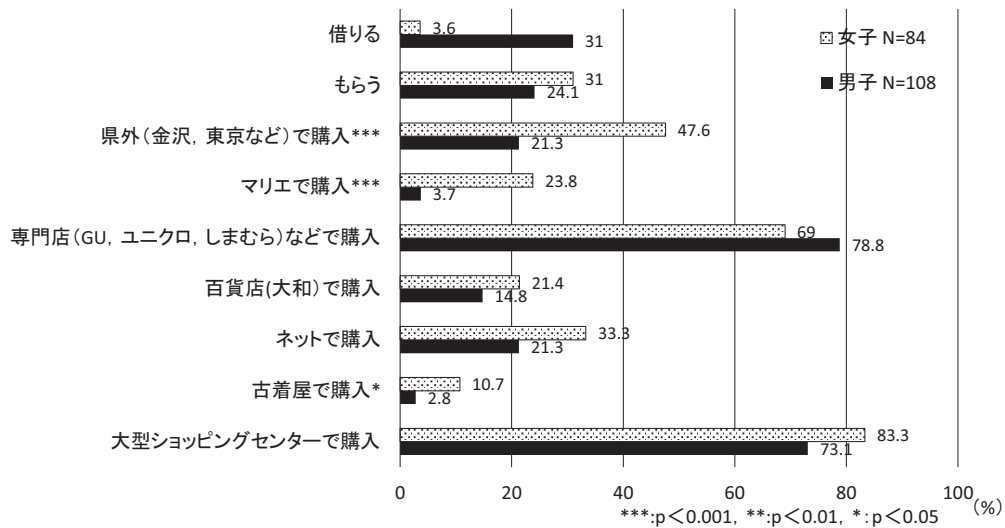


図2 衣服の入手の方法

目は5%水準で有意差が見られた。男女で比較すると、女子はどれも男子より数値が高く、特に、県外(金沢, 東京など)で購入する(男子:21.3%, 女子:47.6%)が半数近くいることがわかった。このことより、女子はより自分の好みの衣服を購入するために色々な場所に行くということが考えられる。また、上位3位を見てみると、男子は1位が専門店で購入(78.8%), 2位が大型ショッピングセンターで購入(73.1%), 3位がもらう(24.1%)であり、女子は、1位が大型ショッピングセンターで購入(83.3%), 2位が専門店で購入(69.0%), 3位が県外で購入(47.6%)であった。

### 3-1-3 衣服の購入時に参考にする情報

「衣服の購入時に参考にする情報」(図3)について、t検定を行ったところ、11項目中1項目が0.1%水準で有意差が見られた。男女共通して、売り場のマネキン(男子:20.4%, 女子:28.9%), 親(男子:34.4%, 女子:36.9%), 店員のアドバイス(男子:23.1%, 女子:34.5%)を参考にする人が多いことがわかった。男女を比較すると、女子は雑誌(女子:45.2%, 男子:8.3%)を参考にする人が多いことがわかった。このことより、男子よりも女子のほうが、衣服の購入時以外の場面で衣服のことについて考えていることが考えられる。

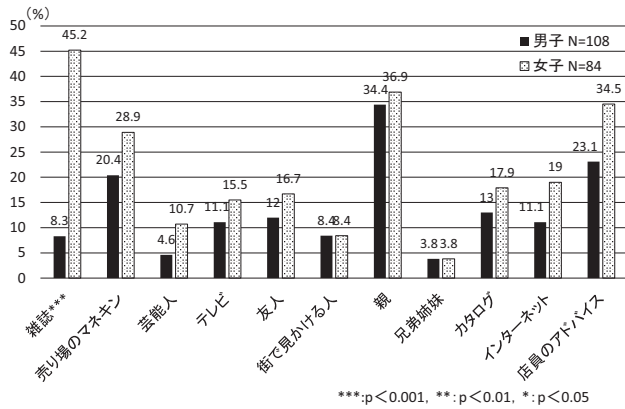


図3 衣服の購入時に参考にする情報

### 3-1-4 自分の着る衣服を選ぶ人

「自分の着る衣服を選ぶ人」(図4)について、t検定を行ったところ、6項目中1項目が1%水準で有意差が見られた。男女共通して、自分(男子:84.3%, 女子:88.1%)と回答した人が多数だった。また、兄弟姉妹(男子:2.8%, 女子:4.8%), 祖父母(男子:3.7%, 女子:3.6%), 親戚(男子:1.9%, 女子:2.4%), 友人(男子:1.0%, 女子:2.4%)と回答した人は男女ともに非常に少なかった。さらに男女を比較すると、男子のほうが親(男子:63.9%, 女子:46.4%)と回答した人が多かった。これらのことより、男女共通して多くの人は親と衣服を買いに行くことが多いが、男子のほうが親とともに衣服を選ぶ傾向にあり、女子は自分の好みの服を自分で選ぶ傾向にあることが考えられる。

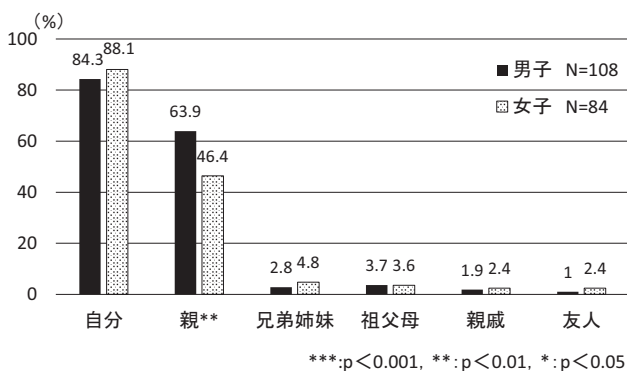


図4 自分の着る衣服を選ぶ人

### 3-1-5 どのような衣服の手入れをしているか

「どのような衣服の手入れをしているか」(図5)について、t検定を行ったところ、11項目中1項目は0.1%水準、1項目は1%水準、2項目は5%水準で有意差が見られた。男女を比較すると、ほとんどの手入れが男子より女子のほうが多い結果となった。

洗濯機をまわす(男子:60.7%, 女子:65.5%)や洗濯物を干す(男子:58.5, 女子:61.9%)は男女ともに多く男女で差があまりないが、アイロンがけ(男子:21.3%, 女子:35.7%)や毛玉取り(男子:17.6%, 女子:34.5%)は男子より女子のほうがやや多かった。また、何もしない(男子:23.0%, 女子:4.8%)は女子より男子のほうがやや多かった。これらのことより、洗濯に関する手入れは男子もしている人が多いが、衣服のしわや毛玉に関してはあまり関心がないことが考えられる。さらに、ほつれ直し(男子:10.2%, 女子:15.5%)や裾上げ(男子:10.8%, 女子:7.1%)は男女ともに少ないことより、家庭科の授業で衣服の修復のことをより十分に扱ったほうがよいのかと考えられる。

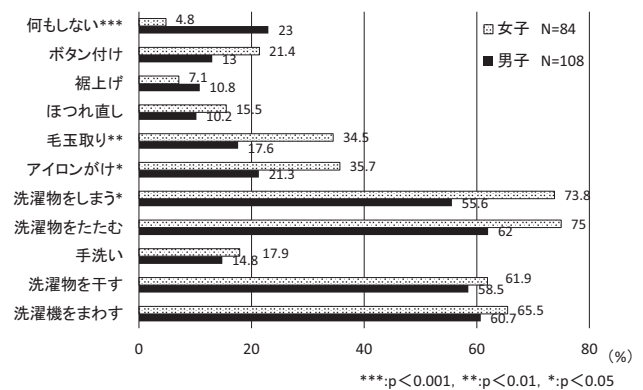


図5 どのような衣服の手入れをしているか

### 3-1-6 現在いらなくなった衣服はどうしているか、今後いらなくなった衣服はどうしたいか

「現在いらなくなった衣服はどうしているか」(図6)について、t検定を行ったところ、6項目中2項目が1%水準で有意差が見られた。男女を比較すると、ゆずる(男子:64.8%, 女子:78.6%), 捨てる(男子:43.5%, 女子:53.6%), 衣服の生地で作る(男子:8.3%, 女子:17.9%)は男子より女子のほうが多い結果となった。

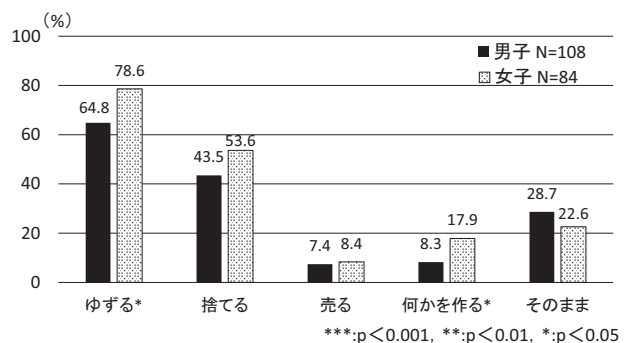


図6 現在いらなくなった衣服はどうしているか

子よりも女子のほうが少し多い結果となった。また男女共通して、フリーマーケットやネットで売る（男子：7.4%，女子：8.4%）はあまりいなかった。

一方で、「今後いらなくなった衣服はどうしたいか」（図7）について、男女を比較すると、フリーマーケットやネットで売る（男子：19.4%，女子：33.3%）、衣服の生地で作何かを作る（男子：20.4%，女子：34.5%）は男子よりも女子のほうがやや多い結果となった。

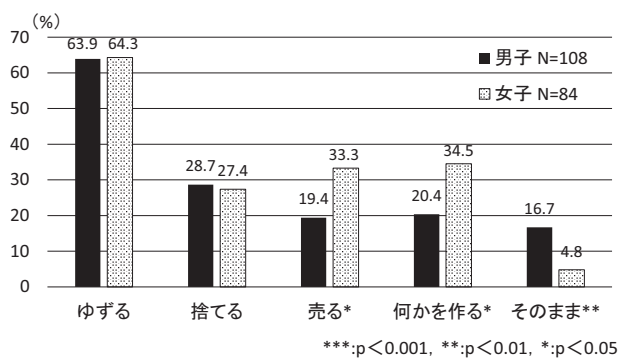


図7 今後いらなくなった衣服はどうしたいか

さらに、「現在いらなくなった衣服はどうしているか」と「今後いらなくなった衣服はどうしたいか」を比較してみると、捨てる（男子：43.5%→28.7%，女子：53.6%→27.4%）、そのままおいておく（男子：28.7%→16.7%，女子：22.6%→4.8%）は減少し、フリーマーケットやネットで売る（男子：7.4%→19.4%，女子：8.4%→33.3%）、衣服の生地で作何かを作る（男子：8.3%→20.4%，女子：17.9%→34.5%）は増加していた。これらのことより、男女共通して、現在いらなくなった衣服を捨てたりそのままおいておく人は多くいるが、フリーマーケットやネットで売ったり衣服の生地で作何かを作ったりといったようにリユースしたいと考えている人が多くいることがわかった。学校の家庭科の授業では、リユースについてより深く触れる必要があると考えられる。

### 3-2 T.P.O.(時間, 場所, 場面)とコーディネート

#### 3-2-1 好みの柄の大小や種類

柄の大小や種類の好みについて探るために、教科書<sup>4)</sup>を参考にし、花柄と無地を追加して尋ねてみた（図8, 図9）。男女共通して、無地（男子：48.6%，女子：32.5%）が一番多い結果となった。女子においては、太ボーダー柄（15.7%）、細ボーダー柄

（13.3%）もややいることがわかった。これらのことより、女子の場合は少数派ではあるがさまざまな柄を好む傾向にあり、また男女共通して無地といったシンプルな衣服を選びたがる傾向があると考えられる。

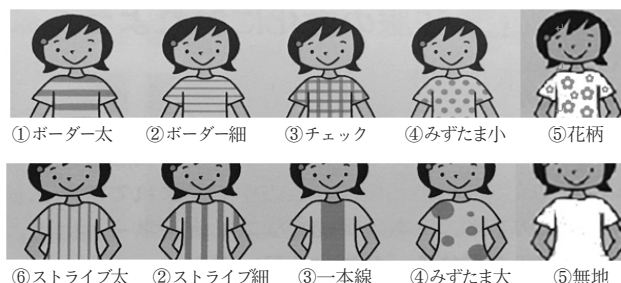


図8 柄の大小や種類

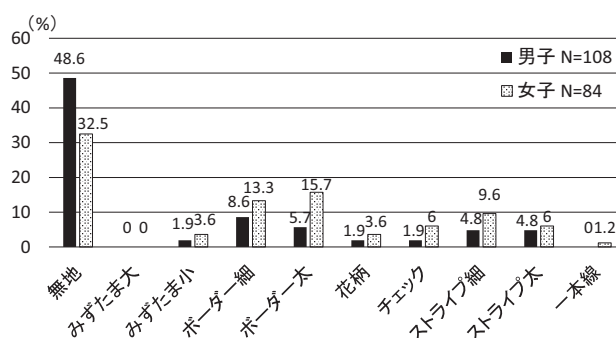


図9 柄の大小や種類の好み

#### 3-2-2 私服において好む色

「何色の私服を好みますか」について、自由記述で回答してもらった（図10）。男女で比較すると、男子では黒（男子：63.9%，女子：47.6%）、青（男子：41.7%，女子：26.2%）、緑（男子：20.4%，女子：3.6%）が好まれ、女子では白（男子：48.1%，女子：75.0%）、ピンク（男子：1.0%，女子：

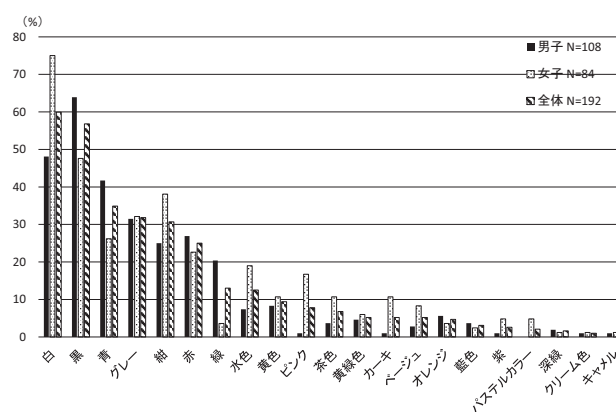


図10 私服において好む色

表1 私服において好む色（クロス集計，男女全体 N=185）

	黄緑	藍色	赤	白	カーキ	青	黒	紫	オレンジ	グレー	深緑	キャメル	水色	茶色	紺	クリーム色	緑	パステルカラー	ベージュ	ピンク	黄色	合計
黄緑	10	0	2	8	0	3	4	0	4	3	0	0	5	2	3	0	2	0	0	1	3	10
藍色	0	6	0	4	0	3	4	0	0	3	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	6
赤	2	0	48	34	3	24	32	3	3	17	0	2	5	1	10	0	8	0	2	6	9	48
白	8	4	34	115	8	37	73	4	8	43	0	2	15	9	40	2	13	1	9	13	12	115
カーキ	0	0	3	8	10	0	3	0	0	8	0	1	1	1	5	0	0	0	2	0	0	10
青	3	3	24	37	0	67	48	4	4	18	3	0	9	4	14	0	11	0	2	4	9	67
黒	4	4	32	73	3	48	109	3	5	38	1	1	11	7	31	1	16	0	5	6	9	109
紫	0	0	3	4	0	4	3	5	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	5
オレンジ	4	0	3	8	0	4	5	0	9	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	9
グレー	3	3	17	43	8	18	38	1	3	61	1	1	4	5	22	2	8	1	6	2	5	61
深緑	0	1	0	0	0	3	1	0	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	3
キャメル	0	0	2	2	1	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
水色	5	1	5	15	1	9	11	1	0	4	0	0	24	2	10	0	1	1	1	5	3	24
茶色	2	0	1	9	1	4	7	0	0	5	0	0	2	13	5	0	3	0	1	0	4	13
紺	3	1	10	40	5	14	31	0	3	22	2	0	10	5	59	0	5	0	5	5	5	59
クリーム色	0	0	0	2	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	0	2
緑	2	1	8	13	0	11	16	1	0	8	1	1	1	3	5	0	25	0	1	0	5	25
パステルカラー	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4	1	0	0	4
ベージュ	0	0	2	9	2	2	5	0	0	6	1	0	1	1	5	1	1	1	10	0	2	10
ピンク	1	0	6	13	0	4	6	1	1	2	0	0	5	0	5	0	0	0	0	15	1	15
黄色	3	0	9	12	0	9	9	1	1	5	0	0	3	4	5	0	5	0	2	1	18	18
合計	10	6	48	115	10	67	109	5	9	61	3	2	24	13	59	2	25	4	10	15	18	185

16.7%) が好まれた。また、女子ではカーキやベージュ、パステルカラーなどといった様々な色名が出た。

これらのことより、男子は寒色に意見が集まっていたが、女子は暖色を好む傾向があると考えられる。

また、カテゴリ（単語）間の関係性を調べるために多重回答のクロス集計を行った。表1は同時に登場する回数を表している。「黄緑」の行に注目すると、「黄緑」と「黄緑」の登場回数が10回になっているが、同じ単語同士の組み合わせは、単に「黄緑」という単語が10回登場したことを意味している。他の組み合わせに目を移すと、「白」と「黒」（73名）、「白」と「グレー」（43名）、「白」と「紺」（40名）、「黒」と「青」（48名）の回数が多いことがわかる（表1）。このことから、モノトーン同士を好むことが多いということが考えられる。

### 3-2-3 私服を着るときのこだわり

「私服を着るときのこだわり」（図11）について、男女で比較すると、男子は動く（男子：22.2%，女子：11.9%）を多く回答しており、女子は色（男子：4.6%，女子：15.5%）、体型（男子：1.9%，女子：10.7%）、アクセサリ（男子：1.0%，女子：7.1%）を多く回答していた。このことより、私服を着るとき、男子は機能性にこだわり、女子はファッション性にこだわっていると考えられる。

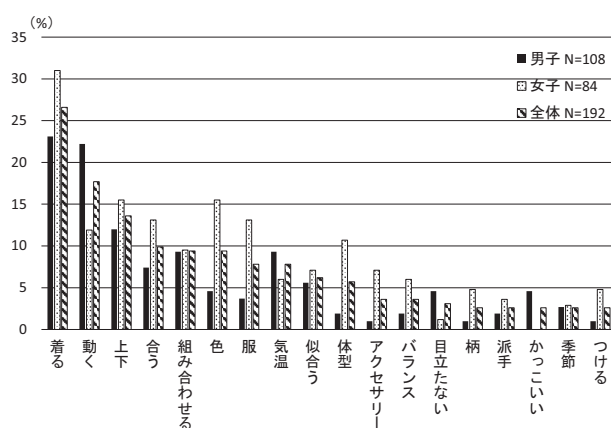


図11 私服を着るときのこだわり

### 3-2-4 春・夏の時期、スカートかズボンかどちらをはくことが多いか（女子のみ）

「春・夏の時期、スカートかズボンかどちらをはくことが多いか」について、「ズボンをよくはき、スカートはほとんどはかない」（8.4%）はかなり少ない結果となった。「どちらかといえば、スカートをよくはく」（31.0%）、「どちらかといえば、ズボンをよくはく」（29.8%）、「ズボンをよくはき、スカートはほとんどはかない」（27.4%）はどれも約30.0%ほどであり、ズボンかスカートかという、ズボンのほうがやや多いという結果となった。普段の学校生活では、毎日スカートをはいているが、休日は自分の好みに合わせてスカートかズボンを選んしており、好みは約半数でわかれるということがわかった。

### 3-2-5 冬の時期、身に着ける防寒具

「冬の時期、身に着ける防寒具」(図12)について、男女共通してアウター(男子:75.9%, 女子:88.0%), 手袋(78.7%, 女子:67.9%)が多いことがわかった。また、男女を比較してみると、女子はマフラー(男子:35.2%, 女子:87.0%), インナー(男子:46.3%, 女子:69.0%), タイツ(男子:0%, 女子:60.7%), ブーツ(男子:26.9%, 女子:59.5%)が多かった。このことから、男子に比べて女子は、マフラーやタイツ、ブーツといった防寒具で寒さから身を守りつつ、個性を出したりおしゃれを楽しんだりしているのではないかと考えられる。

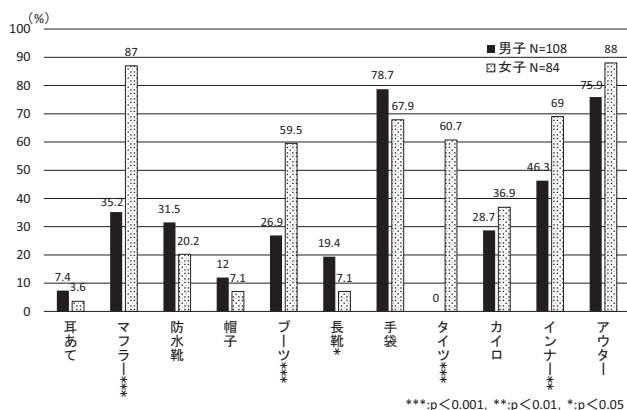


図12 冬の時期、身に着ける防寒具

### 3-3 ライフスタイル<sup>5)</sup>

#### 3-3-1 休日の過ごし方

「休日の過ごし方」(図13)について、男女共通して、勉強(男子:50%, 女子:44%), 寝る(男子:29.6%, 女子:25.0%)を多く回答していた。男女を比較すると、男子はゲーム(男子:70.4%, 女子:23.8%)を多く回答しており、女子はテレビ(男子:17.6%, 女子:34.5%), 買い物(男子:1.9%, 女子:14.3%)を多く回答していた。また、「勉強」と「ゲーム」(59名), 「勉強」と「テレビ」(28名), 「テレビ」と「ゲーム」(20名)の組み合わせが多いことがわかった(表2, 図14)。このことより、男女ともに休日も勉強に忙しく、ゲームやテレビといった家でできる娯楽を楽しんでいるということが考えられる。

#### 3-3-2 興味のあること・熱中していること

「興味のあること・熱中していること」(図15)について、男女共通して、音楽鑑賞(男子:31.5%, 女子:39.3%), 読書(男子:16.7%, 女子:14.3%)が多いことがわかった。男女を比較すると、女子より男子のほうがゲーム(男子:59.3%, 女子:22.6%)が多いことがわかった。休日の過ごし方と同様に、ゲームや読書が多かったことから、平日よりも時間のある休日に自分の興味のあることや熱中

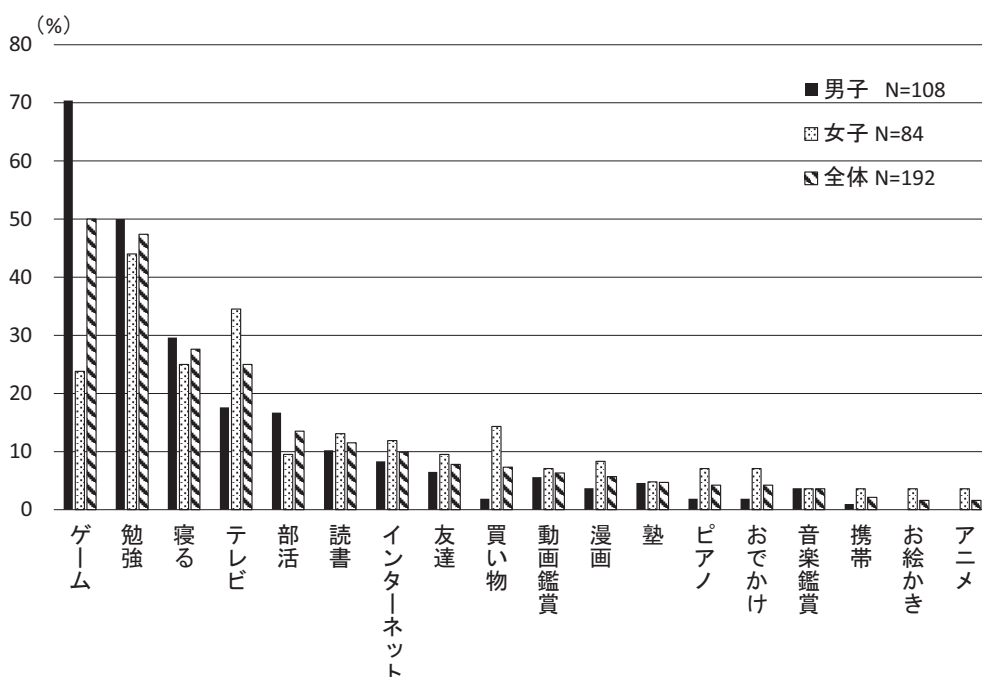


図13 休日の過ごし方

表2 休日の過ごし方 (クロス集計, 男女全体 N=177)

	勉強	友達	インターネット	おでかけ	ピアノ	塾	買い物	音楽鑑賞	動画鑑賞	漫画	テレビ	読書	ゲーム	部活	合計
勉強	104	4	11	3	6	1	8	2	4	6	28	11	59	17	104
友達	4	10	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	4	3	10
インターネット	11	1	19	1	2	1	2	0	0	0	5	1	5	0	19
おでかけ	3	0	1	8	1	0	2	0	0	1	1	2	2	0	8
ピアノ	6	0	2	1	8	0	0	0	0	1	5	0	2	0	8
塾	1	2	1	0	0	9	0	0	0	0	1	0	4	2	9
買い物	8	0	2	2	0	0	14	1	1	2	3	2	4	0	14
音楽鑑賞	2	0	0	0	0	0	1	7	0	0	1	0	2	1	7
動画鑑賞	4	0	0	0	0	0	1	0	8	0	1	0	6	1	8
漫画	6	0	0	1	1	0	2	0	0	11	3	0	5	0	11
テレビ	28	2	5	1	5	1	3	1	1	3	48	7	20	5	48
読書	11	0	1	2	0	0	2	0	0	0	7	22	8	4	22
ゲーム	59	4	5	2	2	4	4	2	6	5	20	8	96	14	96
部活	17	3	0	0	0	2	0	1	1	0	5	4	14	26	26
合計	104	10	19	8	8	9	14	7	8	11	48	22	96	26	177

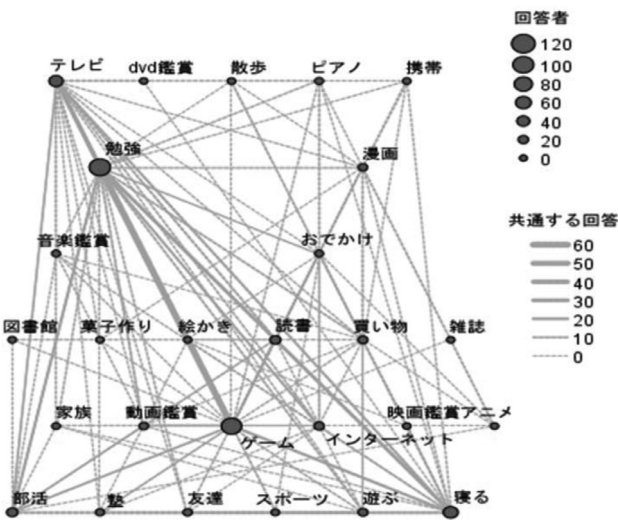


図14 休日の過ごし方 (Web カテゴリ, 男女全体 N=177)

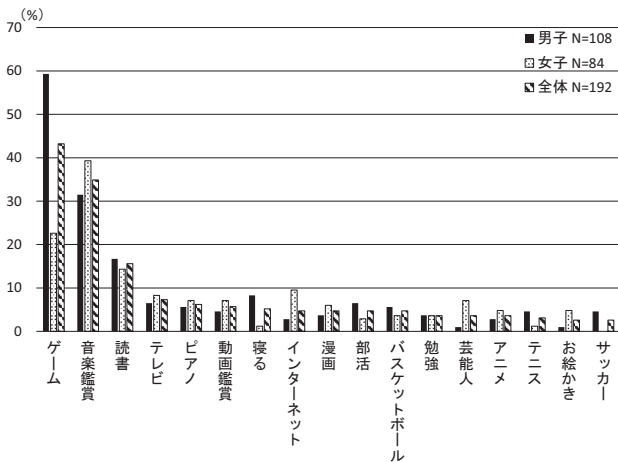


図15 興味のあること・熱中していること

していることをしているということが考えられる。また、インターネットや音楽プレーヤーの発達により、中学生も気軽に音楽を楽しむことができるようになったと考えられる。

### 3-3-3 普段読んでいる雑誌

「普段読んでいる雑誌」(図16)について、男女で有効な回答をしたのは37名であった。そのうち、男子は1名であり、MEN'S NON-NOを読んでいることがわかった。女子は全体の約半数の回答があり、最も多かったのがSeventeen(15名)であった。つづいて、Nicola(7名)、CamCan(4名)、Popteen(4名)、non-no(3名)、Ray(2名)、SWEET(1名)という結果であった。これらのことより、男子中学生はあまりファッション誌に興味がないということがわかった。また、女子は衣服の購入時に参考にするもの(3-1 自立した衣生活)で45.2%が雑誌と回答したことからわかるとおり、普段からファッション誌を読み、衣服のことを考えているということが考えられる。

## IV 結論

本研究では、富山県の中学生(男子108名、女子84名)に、「衣生活とライフスタイル」について質問紙調査を行い、性別の差異を明らかにした。

(1) 自立した衣生活については、まず衣服を購入するときに衣服の重要視するところについて、0.1%水準で有意差が見られた項目は「動きやすさ」「手持ちの衣服と合うか」「流行」の3項目であった。男子は「動きやすさ」(56.5%)に評価が高く、



女子は「手持ちの衣服と合うか」(56.0%)、「流行」(37.0%)に評価が高かった。また、女子は「似合うか」(77.4%)、「シルエット・スタイル」(46.4%)、「ブランド」(22.6%)も評価が高かった。これらのことより、男子は、活発に動くために衣服に機能性を求めており、女子は、見た目を気にするため衣服にファッション性を求めていると考えられる。

衣服の購入時に参考にする情報について、有意差( $p<0.001$ )が見られた項目は「雑誌」であった。女子は男子よりも雑誌(男子:8.3%,女子:45.2%)を参考にしていることが多かった。その他の項目については、あまり有意差が見られなかった。これらのことより、女子は、雑誌を読むことで普段から衣服のことについて考えているのだと推測できる。

現在いらなくなった衣服はどうしているか、また今後いらなくなった衣服はどうしたいかを比較すると、「捨てる」が減少し(男子:43.5%→28.7%,女子:53.6%→27.4%)、「フリーマーケットやネットで売る」(男子:7.4%→19.4%,女子:8.4%→33.3%)、「衣服の生地で何かを作る」(男子:8.3%→20.4%,女子:17.9%→34.5%)が増えていることがわかった。中学生は、どのようにして衣服を処分すればよいのかわかっているが結局は捨ててしまったりそのままにしておいたりするのが現状である。衣服の処分についてより身近に捉えられるように授業で扱っていかねばならない。

(2) T.P.O.(時間,場所,場面)とコーディネートについては、まず私服において好む色は、男子は、「黒」(63.9%)や「青」(41.7%)、「緑」(20.4%)といった寒色を好み、女子は、「白」(75.0%)や「ピンク」(16.7%)といった暖色を好む傾向があることがわかった。また、「白と黒」(73名)、「白とグレー」(43名)、「白と紺」(40名)といった組み合わせを好む人が多かったことから、モノトーン同士を好む人が多いということがわかった。私服を着るときのこだわりは、男子は「動く」(22.2%)、女子は「体型」(10.7%)、「アクセサリー」(7.1%)を多く回答していたことから、男子は機能性にこだわり、女子はファッション性にこだわっているということがわかった。

(3) ライフスタイルについて、休日の過ごし方は、男女ともに「勉強」(男子:50.0%,女子:44.0%)や「寝る」(男子:29.6%,女子:25.0%)が多かった。また、男子は「ゲーム」(70.4%)、女子は「テ

レビ」(34.5%)や「買い物」(14.3%)が多かった。さらに、「勉強とゲーム」(59名)、「勉強とテレビ」(28名)の組み合わせが多かったことから、中学生は休日も勉強で忙しかったために、自宅でできるゲームやテレビを見るといったように気分転換しているのではないかと考えられる。

## 謝 辞

本研究に関する調査票の配布、回収に快くご協力いただいた(富山大学人間発達科学部附属中学校)吉田みづき先生に心よりお礼申し上げます。また、被験者の皆様に深く感謝を申し上げます。

## 参 考 文 献

- 1) 松尾 美江, 滝山 桂子, 益本 仁雄; 衣生活システムの概念を導入した中学生の衣生活の実態分析(第1報)-学習関心と行動の契機-, 日本家庭科教育学会誌, 48(3):206-215(2005)
- 2) 下窪 美咲, 村上 かおり, 鈴木 明子; 家庭科着学習における自己表出の在り方の検討-中学生及び高校生の被覆関心とセルフ・モニタリングとの関係性-, 日本家政学会誌, 67(5), 255-265(2016)
- 3) 孫 珠熙, 元林 理佳; 東京都と富山県における男子・女子高校生の制服着行動の構造, 富山大学人間発達科学部紀要, 10(2), 193-203(2016)
- 4) 文部科学省検定教科書 新編 新しい技術・家庭(家庭分野)2016年度版, 東京書籍
- 5) 孫 珠熙; 韓国ソウル市内高校生のライフスタイルの特徴, 日本家政学会誌, Vol.59, No.2, 99-109(2008)
- 6) 孫 珠熙; テキストマイニングによる高校制服着用時の感情の可視化, 富山大学人間発達科学部紀要, 10(2), 181-191(2016)

(2017年10月20日受付)

(2017年12月20日受理)

## 和文要旨

本研究では中学生の衣生活とライフスタイルについて富山県の男女中学生192名に質問紙調査を行い、以下の結果を得た。

「自立した衣生活」については、衣服の購入時に、男子は「動きやすさ」、女子は「手持ちの衣服と合うか」と「流行」を重要視していた。また、衣服の購入時に女子は「雑誌」に多くの情報を得ていた。

「T.P.O.とコーディネート」については、私服において、男子は「黒」や「青」、「緑」といった寒色を好み、女子は「白」や「ピンク」といった暖色を好むことがわかった。また、私服を着る時、男子は購入時と同様に「動きやすさ」、女子は「体型をカバーすること」や「アクセサリ」についてこだわっていた。

「ライフスタイル」については、休日の過ごし方において、男女ともに「勉強」や「睡眠」が多かった。また男女を比較すると、男子は「ゲーム」、女子は「テレビ」や「買い物」が多かった。